

報道機関各位

長岡市教育部科学博物館長



長岡市

長岡の縄文文化を国内外に発信した功績をたたえ

本市出身の考古学者・小林達雄さんに長岡市表彰を授与

長年にわたり馬高縄文館の名誉館長を務められ、火焰土器・縄文文化の世界発信や、馬高・三十稲場遺跡の保存に大きく貢献された小林達雄さん(令和7年8月ご逝去)に、長岡市表彰を授与します。

これに伴い、小林さんが設立に関わった馬高縄文館を会場に、市表彰の授与式を行います。同館で行う火焰土器発見90周年祭*のイベントに来られた縄文ファンの皆さんからも、授与の様子をご覧ください。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

小林達雄さんに長岡市表彰を授与

1 日時 10月18日(日)午後1時30分～1時50分

2 会場 長岡市馬高縄文館(長岡市関原町1-3060-1)

3 授与者 長岡市長

4 被授与者 小林美津子さん(小林達雄さんの妻)

5 主な功績

- ・長岡市史編集委員会委員(昭和61年7月～平成8年8月)
- ・長岡市馬高・三十稲場遺跡保存整備検討委員会委員長、同保存整備専門委員会委員長、同整備活用委員会委員長(平成11年4月～令和7年8月)
- ・馬高縄文館名誉館長(平成21年4月～令和7年8月)
- ・個人で収集していた貴重な資料約10万点を当市に寄贈

※寄贈いただいた資料の整理作業を継続的に進めるため、クラウドファンディング「小林達雄コレクション資料整理活用プロジェクト」(目標額500万円)を実施中。



▲イギリスで講演する小林さん(平成24年)

※火焰土器発見90周年祭

【前夜祭】10月17日(土)午後2時から

特別展展示解説会、関原小学校6年生が製作した土器のライトアップ、子ども向け火焰土器ナイトミュージアムなど

【本 祭】10月18日(日)

午前10時～1時 土器焼き見学(遺跡内)

午前11時 オープニング火焰太鼓(屋外)

午前11時～午後3時 馬高マルシェ、縄文体験、神輿
(キッチンカー、ワークショップ、弓矢体験など)

午後1時～ 火焰太鼓の演奏(館内)

午後1時50分～ 俳句コンテスト表彰式(館内)

問い合わせ：教育部科学博物館 目黒

TEL 0258-32-0546

発見

はっけん！



火 焰 土 器



90周年祭

令和8年

10/17・18 は入館無料！

「火焰土器」の特別展開催中！

俳句コンテスト作品展も！

10.17(土) - 18(日)

【前夜祭】10月17日(土)

午後2時～3時

★特別展展示解説会 **要申込**

夕暮れ時～ ※ナイトミュージアム終了次第消灯

★「令和土器」ライトアップ

午後5時～、午後6時～

★火焰土器ナイトミュージアム
for kids **要申込**

【本祭】10月18日(日)

午前10時～午後3時 ※終了時間は予定

★見学OK！土器焼き体験

午前11時～午後3時

★馬高マルシェ・縄文体験

★火焰太鼓の演奏

★関原町のお神輿も登場！

長岡市 Umataka Jomon Museum
馬高縄文館

—火焰土器ミュージアム—

長岡市関原町1丁目 3060-1
(北陸・関越道 長岡 IC より車で西へ5分)
TEL 0258-46-0601 (代表)

詳細は
コチラ！



展示解説会・ナイトミュージアムの申込方法など、
詳細は馬高縄文館ホームページをご覧ください。
当日は駐車場(30台程度)の混雑が予想されます。
お車の乗り合わせ、公共交通機関のご利用で、混雑
緩和や事故防止にご協力ください。

＜縄文体験＞

弓矢の体験あり！・露天販売あり

にいがた県内専門バスガイド・
縄文イラスト作家のなぐも友美
さんとつくる火焰土器プラバン
キーホルダー(有料)



＜馬高マルシェ参加予定店＞

- ・出張キッチンカー JUHACHI-BAN ・ハルノヒ
- ・うおぬま縁むすび ・てらのすえのこ
- ・多幸坊主 ・bakery&sweets-ESOLA
- ・社会福祉法人長岡福祉会 野いちご工房

協賛団体：関原地区連合町内会、関原コミュニティ推進協議会、馬高・三十稲場遺跡保存会
関原民謡保存会、偲蕉会、関原まつり大人みこし有志、関原南神輿会



「火焰土器」発見から 90 年

「一、昭和十一年十二月三十一日、本年は珍しく無雪也、此日曇天にして稍寒し、篤三郎本年最後の暇乞を馬高遺跡に告ぐ可く源助畑に於いて実に珍物稀有のものを出土す。一、は大石棒にして、二、は大土偶なり。」(近藤勘治郎『石器時代遺跡探検日記』第一冊)
長岡市関原町の近藤篤三郎が「火焰土器」を発見した当日の様子を、父の勘治郎はこう書き残しました。具体的な記述はありませんが、大きな石棒とのに「ミス馬高」と呼ばれる土偶とともに、この日、「火焰土器」の破片が掘り出されたのです。火焰土器が再び地上に姿を現してから 90 年。どうぞ、一緒にお祝いしてください。

「火焰土器」の特別展を開催！

火焰土器発見 90 周年記念特別展

『掘り出された火焰土器－近藤家と馬高・三十稲場遺跡－』



「火焰土器」や重要文化財を含む近藤家旧蔵品を中心に、地元の考古愛好家が収集した初公開資料などを交え、火焰土器の発見や調査研究の軌跡をたどります。

□期 間 9月19日(土)～11月8日(日) 午前9時～午後5時 入館は午後4時30分まで

□休館日 月曜(祝日の場合は次の平日)

□観覧料 常設展示室観覧料のみ(一般200円、高校生以下無料、20名以上の団体 150円)

■講座等 10月に展示解説会、関連講座を開催予定(10月受付 開始)

日本遺産

『「なんだ、コレは！」

信濃川流域の火焰型土器と
雪国の文化』

■ 認定ストーリー

日本一の大河・信濃川の流域は、8000年前に気候が変わり、世界有数の雪国となった。この雪国から5000年前に誕生した「火焰型土器」は大仰な4つの突起があり、縄文土器を代表するものである。火焰型土器の芸術性を発見した岡本太郎は、この土器を見て「なんだ、コレは！」と叫んだという。火焰型土器を作った人々のムラは信濃川流域を中心としてあり、その規模と密集度は日本有数である。このムラの跡に行けば、5000年前と変わらぬ独特の景観を追体験できる。また、山・川・海の幸とその加工・保存の技術、アングン、火焰型土器の技を継承するようなモノづくりなど、信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。火焰型土器は日本文化の源流であり、浮世絵、歌舞伎と並ぶ日本文化そのものである。

ガイドブックの
ダウンロードは
こちらから！
(無料)



日本語



English



中文



■ 日本遺産 (Japan Heritage)

地域の歴史的魅惑や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。



国重要文化財 火焰土器
新潟県長岡市 馬高遺跡 出土

長岡市 Umataka Jomon Museum

馬高縄文館

－火焰土器ミュージアム－

火焰土器の発見地、史跡馬高・三十稲場遺跡と出土品を保存、展示、活用するガイダンス施設です。重要文化財・火焰土器をはじめ約1千点に及ぶ実物資料を公開し、展示解説や、各種の縄文体験など普及活動を行っています。

隣接する史跡は自由に入場、見学できます

■所在地 〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目 3060-1 (TEL 0258-46-0601)

■観覧料 一般200円、高校生以下無料、20名以上の団体150円

■開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜(祝日の場合は次の平日)、12月28日から翌年1月4日まで

◇バス JR長岡駅大手口より▶【5番線】柏崎駅前行き「関原南」下車、徒歩5分
または▶【6番線】関原経由 ①宮本・大横行き ②脇野町・宮沢・与板行き
③ニュータウン・越後丘陵公園行き 各線で「池の端」下車、徒歩15分
※時間など詳細は越後交通ホームページをご確認ください

◇自動車 JR長岡駅より約20分、長岡ICより約5分